

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

歯の移動に対しての歯槽骨の変化に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年2月から2019年10月までに当院で初診検査時および術前矯正治療後、手術計画立案のために撮影された頭部X線規格写真と術中のシーネを作製するためにCBCT撮影を行った患者

2. 研究目的・方法

矯正歯科治療において、治療目標を決定する際に歯の移動と歯槽骨の形態を考慮する必要があります。例えば、顎の骨が原因で下顎が前方に出ている患者では下顎の前歯が上顎の前歯と噛み合うために舌側に傾いており、矯正治療の治療目標を決定する際、下顎の前歯部を唇側に傾ける必要があります。その際に歯は骨の中を移動するので、下顎の前歯の骨の厚みや形態を十分に考慮する必要があります。過去の研究において、前歯部を後方に移動した前後での歯槽骨の変化が報告されています。しかしながら、その多くは歯の定位置から歯根に向かって一定の距離での歯槽骨の変化を評価したもので、歯槽骨の各部位においての変化を詳細に3次的に計測した研究は極めて少ないです。そこで、本研究では検査時に3次的な骨格の評価を行うために撮影したCT画像と顔面の骨の角度と距離を計測するために撮影した頭部X線規格写真（セファロ）また、手術の直前に手術計画の最終的な立案のために撮影された頭部X線規格写真と術中に必要な装置を作製するために撮影したCT撮影のデータを用いて前歯部の歯槽骨の厚みを測定し、歯の移動に伴う歯槽骨の変化を調べることを目的として行います。

研究期間

2019年10月 日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目：①カルテ内容（カルテ番号、生年月日、性別、年齢、診断名、既往歴）
②CBCT（顔面の縫合の方向、距離や角度）
③レントゲン（セファログラム、パノラマX線写真、デンタルX線写真）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんも

しくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：歯学部歯科矯正学講座（昭和大学歯科病院） 氏名：宮澤 平

住所：〒145-8515 大田区北千束 2-1-1

電話番号：03-3787-1151（平日 9:00～17:00）

内線番号：258

研究責任者：榎 宏太郎